

「桑名・員弁広域環境基本計画」（素案）に関するパブリック・コメントの実施結果

「桑名・員弁広域環境基本計画」（素案）に対して貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。いただきましたご意見とそれに対する桑名・員弁広域連合の考え方を公表いたします。なお、ご意見については原文のまま掲載しておりますが、明らかな誤字等は修正のうえ掲載しています。また、固有名詞等については伏せ字としています。

番号	ご意見		広域連合の考え方
1	P58 4. 二酸化炭素排出量の削減ポテンシャル	<p>P58 以降の将来の二酸化炭素排出量について、2030年のBAUの数値が増加するのはなぜでしょうか。今後、少子高齢化などで諸々の活動は減少し、二酸化炭素排出量も低下すると考えられないでしょうか。</p> <p>令和4年5月25日に経済産業省の産業技術環境局が出している「我が国の地球温暖化対策に関する最近の動向」のP3にもCO2排出量は年々減少傾向にあるようにみえます。</p> <p>(木曾岬町在住)</p>	<p>今後の取組推進の参考とさせていただきます。</p> <p>産業部門の二酸化炭素排出量の算定には、一般的に製造品出荷額を用います。この製造品出荷額について、桑員地域全体として東海環状自動車道の整備進捗とともに、2016年頃より微増傾向にあります。2030年度のBAUの試算においては、この微増傾向が続くものとして設定しています。</p> <p>産業部門を中心に活発化する中でも、二酸化炭素排出量を抑制していくための取組に尽力して参ります。</p>
2	P1 計画の目的	<p>HPの「桑名・員弁広域環境基本計画」の説明の中で、『生物多様性の保全』とありましたが、素案内の「(1)計画の目的」で触れられていないのは残念に思いました。また、環境問題に関する社会潮流で②生物多様性の保全に触れているものの、環境基本法の基本理念のっとりつくられた生物多様性基本法が「(1)計画の目的」で加味されていない点も残念です。生物多様性国家戦略2023-2030、みえ生物多様性推進プランがつくられているので、桑名・員弁広域の地方版生物多様性戦略を策定し、2030年の目標が達成できるよう早急に計画の見直しを行ってほしいところです。</p> <p>(いなべ市在住)</p>	<p>計画の目的に加筆するとともに、今後の取組推進の参考とさせていただきます。</p> <p>本計画は、法に基づき自治体が策定する環境基本計画及び地球温暖化対策実行計画として位置付けていますが、ご指摘の通り、生物多様性の保全も重要であると認識しています。</p> <p>一方で、本計画は「生物多様性地域戦略」と位置付けるものでないため、環境問題に関する社会潮流としてp7にまとめております。</p> <p>ただし、重要な視点であることから、計画の目的にも「生物多様性の保全」に関する記述を追記しました。</p>

番号	ご意見		広域連合の考え方
3	P14 (3)環境に関する動向	<p>P14 (3) 環境に関する動向 ①植物・動物の表で動物に水環境があるのに、植物にないのはなぜでしょうか？池や河川、海にも植生はあると思います。また、②保全すべき自然はなぜ天然記念物のみなののでしょうか？他にも国内希少野生動植物種や三重県指定希少野生動植物種、環境省レッドリストまた、三重県レッドデータブックに掲載されている野生生物等もあるかと思えます。全て載せる必要はないですが、少なくとも2市2町に分布する野生生物をピックアップしてほしいところです。</p> <p>(いなべ市在住)</p>	<p>計画の目的に加筆するとともに、今後の取組推進の参考とさせていただきます。</p> <p>①について、河川等の水環境の項目を追加し、主な在来植物について記載しました。</p> <p>②について、本文中に三重県レッドデータブックに掲載されている野生生物等の保全について追記するとともに、レッドデータブックにおいて、2市2町で観測された主な絶滅危惧種について表にまとめました。</p>